

## Boston Marathon 2013

このレポートを書くにあたり、被害にあわれた多くのボストンマラソン関係者、ランナー、そのご家族の方々に謹んで哀悼の意を表します。

昨年のボストンマラソンでかろうじてクオリファイが付き、もう、今年が最後になるからと勧められて決めた2013年ボストンマラソンでした。

オークランドのレース後、足の指の捻挫をこじらせてしまい、思うような練習が出来ませんでした。参加を決めました。

ボストンマラソンは、是非もう一度走りたい！と思わせるとても魅力的なレースです。

4月13日、AM 11時発 成田～ニューヨーク、PM 1時59分発 ニューヨーク～ボストン、同日のPM 3時17分、ボストンに到着しました。

タクシーでホテルに直行、荷物を置き身軽になって地下鉄でナンバーピックアップに行きました。

会場は昨年と同様、凄まじい混雑でしたが、違ったことがたった一つありました。気温です。

昨年は異常気象で30度を超える猛暑、今年はダウンコートに手袋姿の寒さでした。

ナンバーピックアップ後は、せつかくですから混雑した大会ショップを見たい！

うろうろしているうちに寒気がしてきましたが、もう一つだけ今日したいことがありました。

昨年お世話になった日本料理屋さん「UMA I」に行き、今年もレース前夜の夕食とレース当日の朝食、そしておにぎりを作るための白飯のテイクアウトをお願いしに行くことでした。

明日、突然行って断られることもあるかもしれません。

夕食も兼ねてと思い、記憶をたどりながら「UMA I」に向かいました。

今年もまた、お店の入り口まで待っている人で混み合っていました。

地元の方にも人気のある日本料理屋さんです。

体調を考えて、あまり待つようなら、明日のテイクアウトの予約が可能かどうかだけ聞いて帰ろうと思いました。

レジまで人をかき分けていき声をかけました。

振り返ってくれたお店の方が「えー！今年もー？」と、日本人の若い女の子なのですが、

覚えていてくれたのです！

昨年のお礼を伝え、明日のテイクアウトのお願いをすると「もちろんOKですよ」と受けて頂き、明日の4時にと約束をしました。

食事の待ち時間を聞くと、一人だからと直ぐに席をつくって下さり、夕食も食べることができましたが、味、香りがかろうじてわかるくらいの鼻風邪のような体調になっていました。

帰るときには、昨年のテイクアウトを作って下さった方が「明日、作っておくよ。今年も頑張っ！」と励ましてくれました。

急いでホテルに戻り、これ以上体調を悪化させないように身体を休めようと思いました。時差のためか眠ってもすぐに目が覚めてしまうのですが、レースのため！レース前の準備のため！と一生懸命に眠りました

翌日には睡眠のおかげか体調が戻ったので、さっそく明日のレースの準備です。

寒いのでロングスパッツに決め、半袖Tシャツにアームウォーマー、ネックウォーマー、手袋、防寒のためウインドブレーカー、ホカロンも準備しました。

使うことは絶対はないと思いながらも、いつも持つオレンジ色のネッククーラーをウエストポーチにお守りに入れました。

タイムチップはナンバーに貼り付けてありシューズに付ける必要がなく、最後にナンバーをつけて終了です。

ここまで準備が終わると、少しホッとしました。

娘のお土産だけは買っておきたくて、4時に「UMA I」に行く時に少し早く出かけることにしました。

出掛けにコンシェルジュに寄り、帰りのタクシーの予約に行き話をしていると、「ボストンまで来てオイスターバーに行かないの？美味しいバーがすぐそばにありますよ！」と勧められて予約をお願いしました。

完走後の一人祝いです！

野球大好きの娘のお土産は、Fenway Park にあるヨーキーウェイ・ストアというレッドソックスチームストアで、Tシャツや小物を選ぶ予定でした。

ところが、私の下調べが不十分、試合中は正規のストアを含む一画は柵で塞がれて立ち入り禁止、チケットを持っていなければ入れないのです。

警備員が厳しくチケットをチェックして、入場者を確認していました。

チケットは売り切れ、正規ショップに入ることは不可能でした。  
柵の外にもショップはあり、偽物を売っている訳ではないので仕方なく入店可能なお店で  
買いました。  
お店の方に聞くと、品数が少ないだけだ、と言っていましたが・・・。  
とりあえず、お土産を買えたのでよしとしました。

球場を後にして、4時に約束した「UMA I」に向かいました。  
地下鉄の駅のアイスクリーム屋さんで、偶然バナナを見つけたので1本買いました。  
テイクアウトのものは、すでに用意して下さってあったので、お礼を言い急いでホテルへ  
帰りました。  
まず、夕食の牛丼を食べました。  
昨年と同じメニュー、とても美味しいのです。だから、今年は大盛り！  
ビックリなことに、サービスでタッパーにお味噌汁が入っていました。  
嬉しくて、美味しく、頑張って走らなくちゃー！と気合いを入れました！

夕食が終わったら、おにぎり作りです。  
「UMA I」のご飯は日本米なので美味しいおにぎりを作れます。  
日本から持ってきた、塩分20%のかなり塩辛い梅干し、これがお気に入りです。  
ご飯に味の素とお塩で下味をつけ、梅干しを入れサランラップで一口大に包み込みます。  
レース前に2個位食べるので8個作りしました。  
あとはグミとジェルを準備しました。

準備完了です。  
シャワーを浴びて、モーニングコールを4時に頼み眠りました。

何度も目が覚め、腰が痛くて湿布を貼ったり、お水を飲んだりして熟睡は無理でした。  
結局、モーニングコールを待たずに起きて準備を始めました。  
朝ごはんは、テイクアウトのおいなりさん2個、かっぱ巻き6個、ジnkスで必ず食べる  
インスタントのお赤飯とお味噌汁、温かいお茶でした。完食！

足の指の調子が悪いので、ワセリンをたっぷり塗り、着替えをして、徒歩5分位にある集  
合場所、ボストンコモンという巨大な公園に向かう時間を待っていました。  
選手はそこから1時間半ほどかかるホプキントンという場所までバスで移動します。  
トイレは無いし、バスに乗るまで確実に30分以上は待ちますから、準備万端でぎりぎり  
にホテルを出たいのです。

私は7時~7時30分のバスに乗るグループでした。

色々考えて、6時40分にホテルを出発し、約30分位待つバスに乗りました。

レースは、バスが走って行く道を逆走して戻って来るワンウェイです。

去年はバスがどんどん進むので、こんなに走って戻るのかと思い、早くバスを降りたいと思いました。

でも、今年はバスに乗ってから到着するまでに、どんどん走ることが楽しみに思えてきました。

足の指が痛いのに？と自分でも不思議な気持ちでした。

スタートはタイムの速いグループから、3グループに分けられます。

私は3グループ、10時40分スタートでした。

待ち時間は寒くトイレに何度も行き、ホッカイロを握りしめてスタートを待っていました。バナナとおにぎりを食べ、最後に少し水分補給で準備完了です。

スタートの時間がきました！

ホプキントン~アッシュランド~フラミンガム~ネイティック~ウェルズリー~ニュートン~ブルックライン~ボストンの8つの街を駆け抜けるコースです。

ワンウェイですから、左右にエイドステーションがあり、応援はほとんど絶え間なく街それぞれの特色があります。

走りだして足の痛さもなくなりました。

私は走る時に何かを考えて走ることにしています。

その方が頑張れる気がするからです。

コースの約30K辺りに心臓破りの坂という名所があります。

今回はその坂の地面に書かれている「TOP」の文字を見るまで、娘のことを考えて走ることに決めました。

今年、高3の娘、私なりの合格祈願のつもりでした。

走っているうちに暑くなり、まさか使うことはないだろうと思っていたネッククーラーを使いました。

ネッククーラーのおかげ？で、思っていたより辛くなく走れました。

いよいよ心臓破りの坂に着き、今回の私のクライマックスです！

「ご武運を祈る！」と声にしました。

その後の約12Kはただただ早くゴールしたくて、オイスターバーも頭をよぎり・・・マラソンを始めて、自分だけの勝手な決め事「絶対に歩かない！絶対に後ろを見ない！

絶対に諦めない！」の1つ、後ろを見ない！の決め事を初めて破ってしまったのです。タイムを気にした訳でもないのに、とにかく早くゴールしたくて小刻みに目標を決めて走っていました。

目標を1つ通過して、そしてまた目標を決める、その繰り返し、そんな走りです。

ある所で丁度良いと思える距離に国旗が見え、目標に決めました。

前を走るランナーのシューズをみて黙々と走り、そろそろ国旗は過ぎただろうと思い顔をあげたら、国旗が目に入ってきました。

2つ目の国旗？と思い、過ぎたはずの国旗を確認しよう〜と、つい振り返ってしまったのです。

国旗は無かったし、「嘘！後ろ見ちゃった！！」と、一瞬、茫然としてしまいました。

自分では感じていなかったのですが、かなり辛かったのかな？と今になって思います。

これまで、どんなに苦しいマラソンの時も、自分との約束を守り続けてきたのに！と後悔の気持ちのまま走りました。

そのうち、見覚えがあるゴール付近の景色が見えてきました。

最後は後悔を吹っ切るように、フィニッシュラインまで全速力で走りました。

結果 3 : 4 5 : 4 4 (ネットタイム)

去年は暑さのあまり、ゴール後、座り込んで休み、その後はゴール付近で余韻に浸っていました。

今年はゴールを駆け抜けたまま、地下鉄の駅に急ぎました。

初日の予定が体調を崩したことで狂ってしまったので、早くホテルに帰って着替えて出掛けなくてはならない用事がありました。

その後に、オイスターバーで一人祝いの予約も入っていました。

ホテル到着、超特急でシャワーを浴び身支度をして地下鉄に乗り目的地に着いた時、初めて爆発があったことを聞きました。

お店は次々と閉店し、「交通はすべてストップしているからタクシーで帰りなさい」と言われましたが、どのタクシーも乗っていて無理だと感じました。

そばにいたカップルに尋ねたらとても丁寧な地図を書いて下さり、その地図を握りしめて走ってホテルに帰りました。

ホテルに入るのに厳しいチェックがあり、飲料水を配るなど異様な雰囲気でした。

もちろん、オイスターバーはキャンセル、ホテル内のレストランも混雑していたので、残

っていたパンとカップラーメンを食べました。

ケータイに家族や友人から連絡が入り、TVはどのチャンネルもゴールの爆発事件のニュースでした。

コンシェルジュに明日の空港までのタクシーの時間を早めてもらい、パッキングをしましたが、本当に、明日、帰れるのか半信半疑でしたし、これから何がどうなるのかとても不安でした。

翌朝、チェックアウトの時に空港の状況を聞くと平常通りということでした。

タクシーの運転手さんは「マラソンに出たの？気を付けて帰りなさい」と、多分、不安そうにしていた私に言葉をかけてくれました。

空港で朝食を食べ、搭乗を待ちました。

去年は新聞を買って、レースの結果を見ました。

今年の新聞にはプロ以外のレース結果は無く、どの新聞も一面から爆発事件のことでした。

4月16日、AM11時40分発、ボストン～ニューヨーク、PM6時05分発、ニューヨーク～成田、4月17日、PM9時、成田に到着しました。

ボストンマラソンは毎年、4月の第3月曜日の **patriots' Day** (愛国者の日)、マサチューセッツ州の祝日に開催されます。

そんな日にこんな悲しい事件が起きたことは残念でなりません。

落ち着いて思い出してみると、去年のタイムとレース後の私の行動が今年だったら、確実に爆発の時間に居合わせていました。

今年の私のゴールタイムと事件の起きた時間差は24分でした。

もちろん、1番に思うことは大惨事にあわれた方々のことですが、自分のことを考えても本当に背筋が寒くなります。

数日後、ボストンマラソン大会事務局から「ボストンは負けない！」とメールが届きました。

追記：今回、フルのタイムを更新しましたことを申し添えます。

ジョイナー

